

Title	榊原研互教授退任記念号発刊にあたって
Sub Title	In honour of Professor Kengo Sakakibara
Author	岡本, 大輔(Okamoto, Daisuke)
Publisher	慶應義塾大学出版会
Publication year	2024
Jtitle	三田商学研究 (Mita business review). Vol.67, No.3 (2024. 8) ,p.1- 2
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	榊原研互教授・岡本大輔教授 退任記念号
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234698-20240800-0001

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

榊原研互教授退任記念号発刊にあたって*

榊原先生は、1980年に商学部をご卒業後、大学院商学研究科修士・博士課程に学ばれ、修士課程修了後の1982年には商学部助手として着任されました。それから今年の3月末で勤続41年となり、定年を迎えられます。慶應義塾と商学部、商学研究科の研究と教育の発展に尽くしてこられました。

ご研究においては、このあとご自身からより詳しくお話しされることと思いますが、経営学説史・経営学方法論をご専門とされ、経営学の錯綜した現状を整理し理解するためのツールとしての科学方法論の研究、それに基づく既存の諸理論、諸学説の体系的な整序を通して、経営学の発展の方向性を探るご研究をしてこられました。その業績として多くの著書と論文を執筆され、ご専門分野に大きく貢献されました。

学会でも、経営哲学学会会長、日本経営学会理事、国際戦略経営研究学会理事、ドイツ経営学研究会幹事を歴任され、学会に大きく貢献されました。

教育においては、経営学説史、理論史、方法論史等の講義や研究会、ゼミをご担当され、学部生・大学院生のための教育に情熱を惜しみなく注いでこられました。

商学部においては、皆さんご存知のように、商学部長・大学院商学研究科委員長を4年間お務めになりました。また、体育会空手部部長、慶應義塾評議員もお務めになり塾全体にも大きく貢献してこられました。

私は個人的には学部・大学院の1年後輩で、偉大なる先輩の背中を見てほとんど同じキャリアを歩いてきましたが、まさか学部長まで引き継いでしまうとは、計算違いでした。

最初に助手になったときには榊原さんとの2人部屋でしたのでいろいろ教えていただき、大変お世話になりました。先生のお宅にも何回かお邪魔し、先生ご自慢の鉄道のジオラマを見せていただいたり、巨大なスピーカーのあるオーディオルームを見せていただいたりしました。また水出しコーヒーをご馳走になり、一晩かけて水でコーヒーを抽出する仕組みなのですが、何事にもこだわりを持って取り組む先生のお姿に感動したことをよく覚えております。

また先生の奥様が大変お料理の上手な方で、ちょっと記録を調べてみたところ、ある日のメニューはマグロのカルパッチョ、キャビア載せのパプリカのムース、金目鯛・大正エビ・ムール貝・ハマグリのアクアパッツァ、オックステール赤ワイン煮込み、ティラミスというフルコース

* 本稿は2023年3月4日に慶應義塾大学三田キャンパスで行なわれた、榊原教授退任記念講演（最終講義）において、当時の学部長であった岡本大輔が冒頭に先生をご紹介したご挨拶に加筆訂正したものである。

で、それを榊原先生がサーブしてくださるという、至福のディナーをご馳走していただきました。

ご定年ということで定義的にはお祝いですが、我々残されたものはとても寂しく思っているところです。ただ榊原先生はこの4月からも大学院での授業を継続してくださることになっていますので、その点はとても有り難く思っております。まだまだ、慶應義塾を宜しく願いできれば、と思っております。

本日は先生の最終講義、退任記念講演ということでとても楽しみにしております。それでは先生、本日はどうぞ宜しくお願い致します。

令和5年3月

商学部長 岡 本 大 輔